

東芝ライテック(株)横須賀 本社事務所 サイトレポート情報

所在地	: 神奈川県横須賀市船越町一丁目201番1
敷地面積	: 敷地面積:43,256m ² 、建家面積:54,154m ² 、緑化率7.6%
設立	: 1989年4月、従業員:616人(2014年4月現在)
主要製品	: ジュメットワイヤー・照明用コイル・産業用照明器具
ISO14001認証取得	: 1996年10月、最新更新年月 : 2011年8月 (ISO認証番号:EC99J2026)



ごあいさつ

東芝ライテック(株)横須賀本社事務所は周辺を住宅・商店・小中学校・更に東側は海に面し、海上自衛隊が隣接された立地条件の中で事業を展開しています。主力製品はジュメットワイヤー、照明用コイル、照明関連製品を製造し、事業部では住宅、店舗、オフィス、屋外、舞台、スタジオなど様々なシーンに応じたLEDをはじめとする各種光源、照明器具、照明システムの事業を展開しています。



環境保全責任者 山崎 孝浩

2013年度の環境の主な取組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム

1996年10月に認証取得、2011年8月に5回目の更新後、2013年8月 二次サーベイランス実施

☆環境保全体制の充実

・法令、条例の順守(水質等定期測定)・現場管理の強化(日常点検)

☆環境調和型製品の開発

・エクセレントECP売上高向上 (実106%) ROHS監査の実施 11件(実績11件)
・製品含有物質の管理 7件(実績8件)

☆環境保全設備の改善と管理の向上

・環境設備改善:目標3件(実績5件)
・環水資源の有効活用 目標49.8t/年以下(実績33.3t/年)

☆廃棄物の削減

・ゼロエミ継続:目標0.3%以下(実績0%)・原単位削減:目標31.9t/億円以下(実績10.0t/億円)

☆省エネルギーの推進

・製造:目標50.4t-CO₂/億円(実績52.5)・動力:22.1t-CO₂/億円(実績15.2)・間接:1254t-CO₂(実績1047)

☆スタッフ・技術部門における環境改善テーマの推進

・1件/各部門 20件(23件完了)

☆全員参加・啓発活動の展開

・環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓蒙活動、廃棄物立会い、構内外清掃等

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

LED照明

LED防犯
(新料金区分10W
まで対応)



一般電球



マルチカラーシーリングライト



LEDシーリングライト キラキラ



LED一体型ベースライト
(従来蛍光灯器具と比較
25%消費電力減少)



環境方針

東芝ライテック株式会社 環境方針

東芝ライテックグループは、東芝および東芝コミュニティー・ソリューション社グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境経営の推進

- (1) 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- (2) 事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- (3) 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
- (4) 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
- (5) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- (6) グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

2. 環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

- (1) 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- (2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- (3) 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

3. 地球内企業として

- (1) 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- (2) 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

4. 東芝ライテック株式会社はスマートコミュニティー事業を通して、環境配慮都市の構築に貢献します。上記東芝グループ方針に加えて当社の事業分野である、照明商品、照明システムの製品開発、製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティー社会実現を目指した環境経営を推進します。

- (1) 環境調和型製品（ECP）、さらには業界トップの環境性能を誇るエクセレントECPの創出・普及により、製品やシステム全体における省エネルギー、資源有効活用、有害化学物質削減を推進します。
- (2) エネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電力、天然ガス等の使用量を削減し、CO₂排出量を抑制します。
- (3) 水質・騒音等にかかわる施設について、管理の徹底、設備改善等を行い環境に与える影響を最少にするとともに事故等の予防措置に努めます。
- (4) 循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
- (5) 地域社会と連携し、各生産拠点で生物多様性に向けた環境活動展開し、自然との共生を図ります。

2014年6月24日

東芝ライテック株式会社
取締役社長

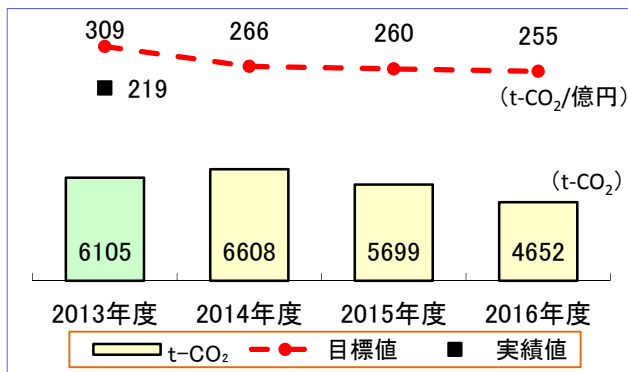
揖斐洋一

環境目的・目標

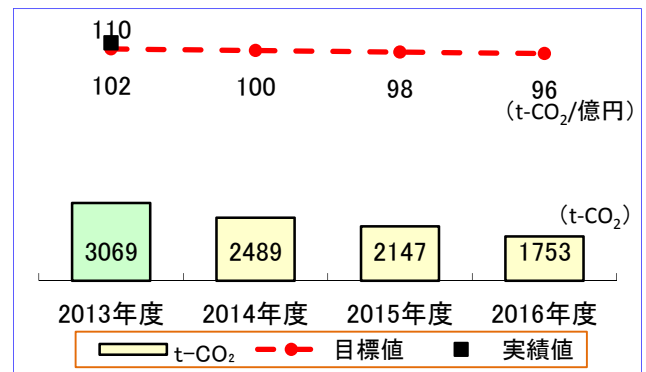
取組み項目		2014年度	2015年度	2016年度
地球温暖化防止	エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	266	260	255
	物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	—	—	—
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	11.0	10.9	10.8
	最終処分率の管理(%)	<0.5	<0.5	<0.5
	水受入量原単位の改善(千m ³ /億円)	1.28	1.26	1.25
化学物質管理	取扱量原単位の改善(t/億円)	2.14	2.12	2.10
生物多様性	生物多様性の推進	希少種の保護・返還		

環境負荷データ

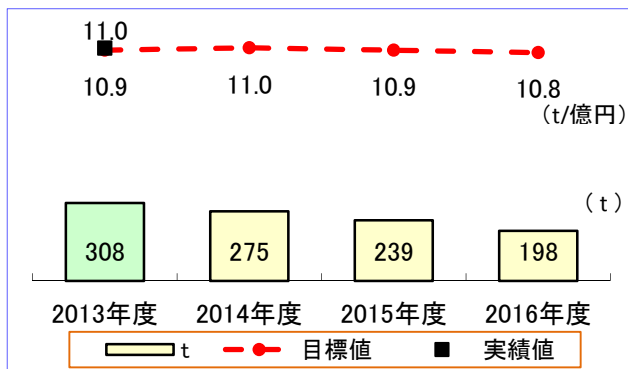
エネ起源CO₂



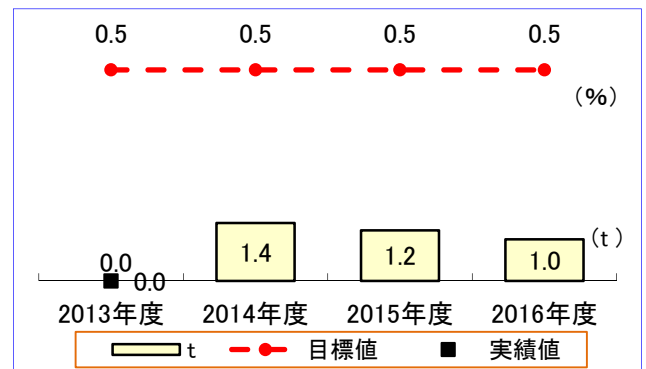
物流CO₂



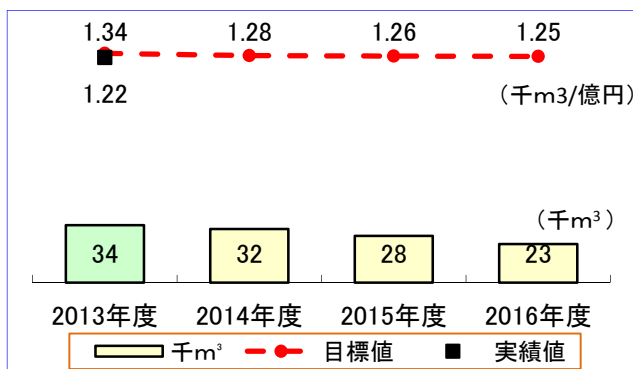
廃棄物総発生量



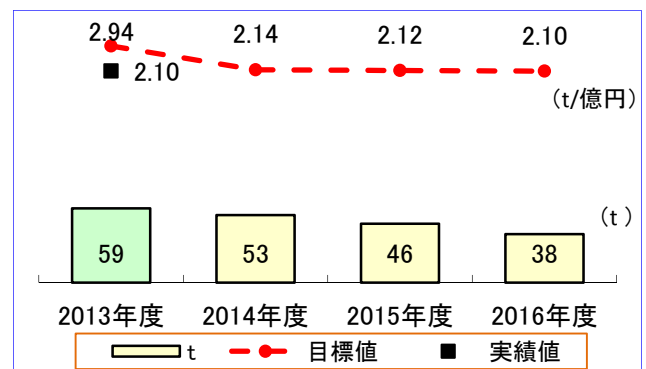
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



コミュニケーションの紹介

<横須賀市、市役所にてLED照明展示>

横須賀市の市内企業の製品紹介を目的として、当社は横須賀市役所1階ロビーにてLEDシーリングキラキラ・マルチカラーシーリング・当社がLED照明を寄贈した中尊寺金色堂のパネル等を展示しました。展示初日、横須賀市長、市幹部並びに関係部署の方々が列席のもとセレモニーが行なわれました。

(実施概要)

展示期間：2013年3月22日
～4月26日



<構内外一斉清掃>

環境月間行事及びCSRの一環として、構内・外に清掃活動を実施しています。2013年度は清掃範囲を拡大し、更には海側通学路面に生えている雑草の除去、フェンス際の立木の伐採を行ないました。

(実施概要)

日時：2013年11月15日
参加人員：90名



<小学生環境学習>

2007年より近隣小学校（5年生）の環境学習をスタートし、継続して開催しています。2013年度も地球温暖化、LED照明の講義及び液体窒素に風船を入れた実験や排水処理のビーカーによる実験を行なった後、社内の環境施設を見学しました。当日はPTAの方々も見学に訪れました。

(実施概要)

日時：2014年2月7日
参加人員：112名



生物多様性の取組み

指標種の選定

指標生物	指標生物の希少性
ハマカンゾウ	三浦半島「小網代の森」にて盗掘により減少



調査の概要

TRネット(岸教授)、TLT(横須賀)を視察(2012年4月13日)三浦半島にある「小網代の森(神奈川県所有)」にて盗掘被害に遭っているハマカンゾウ(ユリ科)を当社構内に移植、繁殖の提案があった。
森を管理する神奈川県環境農政局へ小網代の森に生息するハマカンゾウの移植許可願いを提出



ビオトープの概要

当社、海側庭園にハマカンゾウ28株を移植(2012年5月25日)。2012年8月には、2株の開花に成功。



2012年9月に環境の変化と夏の暑さにより葉が枯れ、21株に減少。生育について芝が妨げになっていると、周辺の芝を除去。また、混合肥料等、土壌改良を行なった結果、株は移植当時より元気に育ち、2014年3月には100株にまで増やす事に成功した。



2014年5月、本来の生息地である小網代の谷に戻す返還式の開催が決定